
卒業式

宇野直人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

卒業式

【Nコード】

N9367Q

【作者名】

宇野直人

【あらすじ】

むりくりしょうせつのまき

お題「愛の言葉」

もうこれで中学生ではなくなるのかと思っても実感がまるでない。この制服を着ることや、クラスメイト全員が集まるのがもしかしたら最後かもしれないということも、僕にはどうしても非現実的なことのように思えてくる。

なにしろ、空はいつものように青いし、僕自身、急に成長したわけではないのだ。日常に変わりはない。それなのに、環境が急に変わるというのは、変な話だと思うのだ。

通学路をゆっくり歩く。目の前にある石ころを蹴ったら、脇の溝に落ちた。ちゃぽんと水が跳ねて、靴にかかる。学校指定の白い靴は、履きつぶして汚れている。

いつもよりはやく学校に着く。あれだけゆっくり歩いてきたのに、時間にはまだ余裕がある。しかも、クラスメートのほとんどが集まっていた。教室中は、どこかしら浮かれたような、でも少しだけ緊張感のある空気がただよっている。それがなんだか変な感じで、黒板の近くで固まっている男子の中に割って入った。

「今日でおれら卒業だな！」

そう言って近くにいた男子の肩に手をやると、いきなりクラスの男子に取り囲まれ、手足の自由を奪われた。男子が馬乗りになってくる。

「おまえ来んのおせーよ！」

僕はじたばたと暴れる。

「うるせーし！ いつもより30分のはやいだろ！ つーかはなせー！」

「いやだね！ このクラスの男子で最後に来たから罰ゲームだ！ みんないくぞ！」

その合図と同時にクラスの男子全員が襲いかかってくる。全員が

全員好き放題にこちよこちよをしたりシューズを逃したりしてくる。なるがままされ続けてようやく終わった。僕は立ち上がり、訴えるように、

「いじめだろ！ お前ら！」

クラスの男子がみんな笑った。女子も「またはじめたよウチの男子」といわんばかりににやにやと笑う。僕自身も最後は笑ってしまった。

「だいたい今日が卒業式って実感なさすぎるわ」

おれもおれも、と男子たちは声をあげる。みんな同じような気持ちだった。

このクラスではいろいろと衝突があった。そのなかで、問題を解決して乗り越えてきたのだ。みんながみんな、このクラスを好きなんだろうと思う。

愛の言葉はなくても、それがあることがわかった。

(後書き)

もうなにも言いません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9367q/>

卒業式

2011年10月8日13時24分発行